

大野 岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和6年5月31日発行 文責 校長 中尾 聡彦

友笑輝(ゆうしょうき)～輝くヒーロー達へ～

5月19日(日)に、晴天の下、体育大会が行われました。

今年のスローガンは「友笑輝～輝くヒーロー達へ～」です。このスローガンには、自分たちの力で、友だちと笑い合い、一人一人が輝くヒーローになることができる体育大会を創り上げようという思いが込められています。

4月12日に入学してきた1年生にとっては本校で初めての体育大会です。9年生にとっては最後の体育大会になります。練習期間中には、9年生が腰をかがめながら1年生に話しかけ、一つ一つの動きを確認している様子が見られました。また、今年は各ステージのリーダー学年(4年生、7年生、9年生)の役割を明確にし、種目ごとにそれぞれの学年がリーダーとして活躍してくれました。そして、終盤のプログラムである「ソーラン合戦」では、後期課程のあふれんばかりのエネルギーを躍動する姿で表現してくれました。

1年生から9年生までのそれぞれの発達段階がありますが、どの学年においても「真面目に一生懸命に取り組む姿勢」は共通しており、この点は、南波多町の地域性によって育まれた南波多郷学館の素晴らしい伝統の一つだと思います。

閉会式の後に、ある保護者の方からは次のような言葉をいただきました。

「久しぶりの昼食をはさんでの体育大会でした。開会式が例年より遅くなったので、弁当も少し余裕をもって作ることができました。また、久しぶりに親子で弁当を食べましたし、近所の方ともわいわい言いながら弁当を食べました。暑かったですが、楽しい時間になりました。」

コロナ禍を機に、いろいろな行事が削減されてきました。学校行事の中には、前例踏襲ではなく、削減したり、縮小したりした方がよいものもあると思います。一方では、コロナ禍の中で学んだように、その行事の趣旨を鑑み、課題をクリアしながら以前の形の戻していく努力も必要かと思っています。

5月は遠足やふるさと探訪、土曜登校などで弁当を作る回数も多く、保護者の方にはご苦労をおかけしたと思います。ご理解とご協力いただいたことに感謝申し上げます。



「主体性」を育む！

今年度、南波多郷学館では「主体的に行動する児童生徒の育成」をテーマに教職員の研修を進めていくことになっています。もう少し具体的に言いますと「自ら目標・問いを立て、他者や条件に配慮しつつ解決していく児童生徒」を全ての教育活動を通して育てていきたいと考えています。先日、ある職員と次のような話になりました。

「主体性を育むということは、無条件にいろいろなことを児童生徒に委ねていくことではないような気がします。経験のない児童生徒に、教師側が描く姿を求めてもいけないような気がします。時に教師が導くことも必要ですね。この導くことと、委ねることのバランス感覚を私たちが身に付けなければいけないと思います。」

時間に追われる日々の中で、結果を急ぐあまり「待つことができない」自分がいます。また、失敗をしないように「先手を打つ」自分がいます。

子どもたちには、失敗を恐れずに、試しにやってみるとか、思い切って挑戦してみるといった環境をつくっていくことが大事なのではないかと思います。また、我々もそうであったように、失敗を繰り返しながら成長していくことができる、失敗が許される環境が大事なのではないかと思います。

「主体性」を育むためには、「待つ」「見守る」といった我々大人の心の持ちようが大切なのかもしれません。

「川柳教室」が始まります

本校の特色ある教育活動の中に「川柳教室」があります。講師は原屋敷在住の岩永孝雄さんです。この取り組みは今年で16年目を迎えます。この「川柳教室」はただ単に川柳を詠むだけではなく、児童生徒の感性を育み、互いの句を交流することで友だちのよさに気づくといった教育効果があります。昨年度の「第61回佐賀県文学賞」においては、小学の部に11作品、中学の部に7作品が入賞するなど、その質の高さも県内で評価されているところです。

本校では、「川柳教室」をはじめ、「見守り隊」「ふるさと探訪」「読み聞かせボランティア・おは梨の木」「田植え・稲刈り」「タイワンツバメシジミ保存活動」「南波多こども教室」「職場体験」等々、他の学校では、学校が連絡や調整をしながら進めていく教育活動を、地域学校協働推進委員の井手みどりさんに調整していただきながら、地域の方々のお力添えをいただくことができています。まさに、コミュニティ・スクールのモデル的な取り組みです。ありがとうございます。

地域ボランティアのみなさま、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



(昨年度の授業風景)